

# NIE特集

Newspaper In Education

毎月第2・4火曜刊行



## 原町小

学校名 仙台市立原町小学校  
所在地 仙台市宮城野区原町2の6の1  
電話 022(257)0171

校長 吉田 裕明  
児童 602人

### 「原町本通りの昔」を探れ!

# 沿道に米穀店ずらり

## 知り隊

### 馬車や人力車も通る



私たちの原町小のすぐそばに商店街「原町本通り」があります。マンションやアパート、住宅地になっていて、通学路にもなっています。私たちは総合的な学習で地元学に取り組みました。

私たちが原町小のすぐそばに商店街「原町本通り」があります。マンションやアパート、住宅地になっていて、通学路にもなっています。私たちは総合的な学習で地元学に取り組みました。

私たちが原町小のすぐそばに商店街「原町本通り」があります。マンションやアパート、住宅地になっていて、通学路にもなっています。私たちは総合的な学習で地元学に取り組みました。

私たちが原町小のすぐそばに商店街「原町本通り」があります。マンションやアパート、住宅地になっていて、通学路にもなっています。私たちは総合的な学習で地元学に取り組みました。

私たちが原町小のすぐそばに商店街「原町本通り」があります。マンションやアパート、住宅地になっていて、通学路にもなっています。私たちは総合的な学習で地元学に取り組みました。



### うきうきキャンパス

先生たち  
2年・須田啓人

にじいろのくじら  
3年・田藤誠矢

すきなものいっぱい  
1年・眞島瑞華

カンガルー貯金箱  
4年・今泉乃

うわらう  
6年・眞崎潤輝

自画像  
5年・加藤沙衣里

### 教え隊

#### バケツ稲作り

## 収穫したお米に感謝

JAの人たちに稲穀の仕方を教わる

昨年の5月から始まったバケツ稲作り。私たちは、JA原町の方たちに教えていただきました。稲刈りは10月。くきを5分残して刈り取る。天日で乾かし、脱穀して玄米にした後、精米です。

ここに稲を育ててくれたのは、作業の度にJAの方たちに教えていただいたからです。収穫祭にもちつき。目の前で見るのは初めてで迫力がありました。

楽しかった収穫祭ですが、それだけでなく育て方を教えてくださった方やお米にも感謝する気持ちが大切だと感じました。

文・守谷啓、鎌田瞬、島津敬作(6年)

### 編集後記

たぎのつれと忘れなれど、米ができた。はつれいす。

△編集委員 佐藤美井、井手田南、比呂間早紀(卒業生)、今大同、船山慎、守谷啓、鎌田瞬、島津敬作、庄手、野田、野田(6年)、船山慎、庄手、野田、野田(6年)

バケツ稲作りでは、水の管理や肥料の与えが大切。子ねね(6年)

理や雑草取りなどの世話を通して、米の大切さを知りました。私たちの記事を読んだ方々に読んでいただき、感謝の気持ちを込めてお伝えします。

馬田佳

### ハッキングはやめて

ぼくは、パソコンや物やノートを作るのに使っています。インターネットを使っていると、ページを勝手に消すこともできる。それに、ウイルスが侵入してパソコンが壊れることがあります。ウイルス対策ソフトが壊れたら、パソコンが使えなくなる。それに、ウイルスが侵入すると、パソコンが壊れる。それに、ウイルスが侵入すると、パソコンが壊れる。

文・今大同(6年)

### 言い隊

今、こけや仙豆たんすなどの伝統工芸は作る人が足りず、受け継いでいくことが難しくなっている。私は、伝統工芸を次の時代に残すには、私たちの努力も必要だと思う。

例として伝統工芸について、よく知ることや、伝統工芸のお店を訪ねてみることも、伝統工芸を次の時代に残すには、私たちの努力も必要だと思う。

文・佐藤舞実、井手田南、比呂間早紀(卒業生)

次回(7月13日)は、長町小(仙台市)と湊小(石巻市)です。